

環境都市工学部(建築学科) カリキュラムツリー

1年次

春 建築専門分野の入門 **秋** 建築専門分野の概論

2年次

春 専門知識の中でも基礎知識の習得 **秋** 専門知識の各論を習得

3年次

春 2年次の知識をより深度を高めた専門的な知識の習得 **秋** 演習によるこれまでの知識のアウトプットを学ぶ

DP1 (知識・技能)

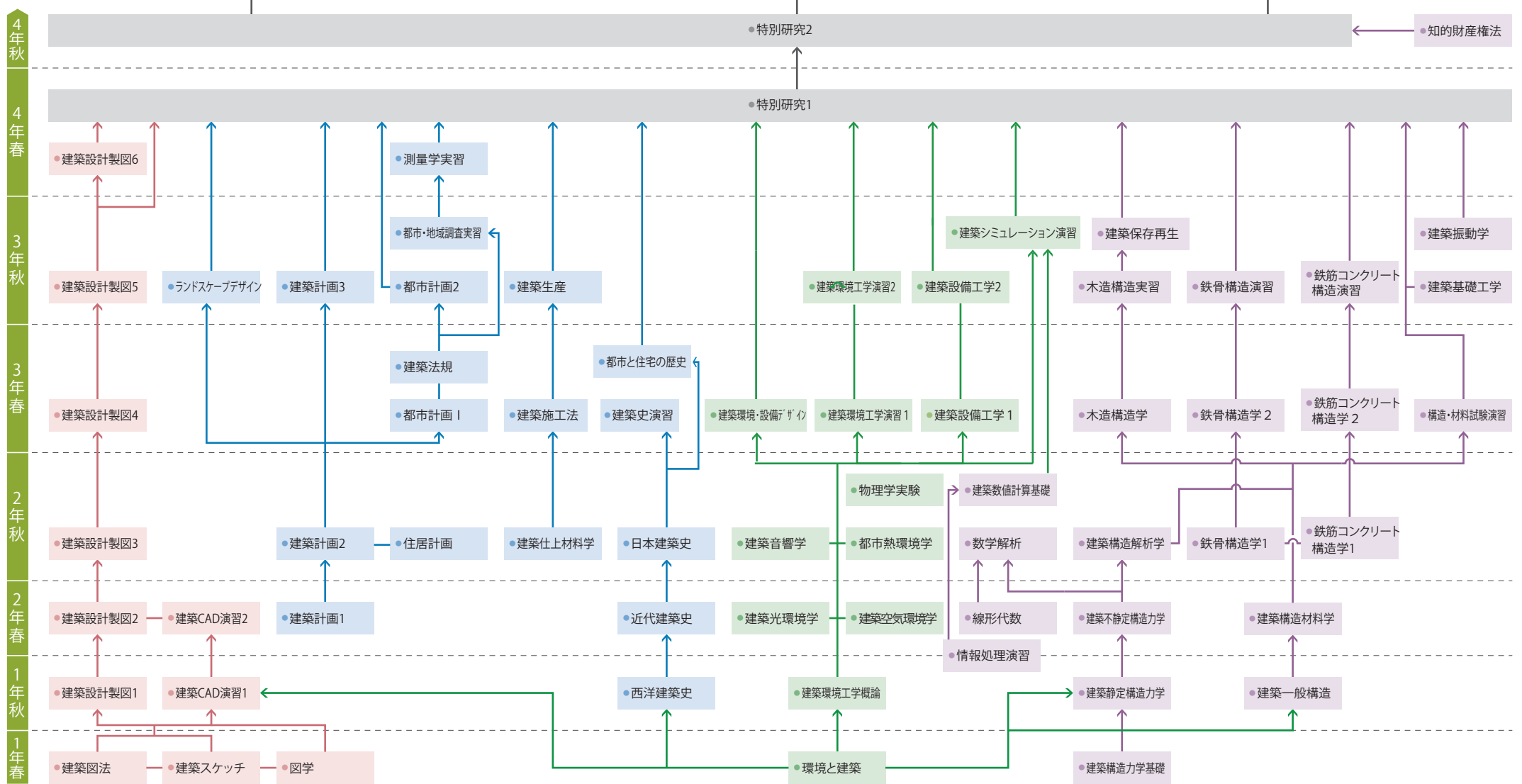
建築に従事する専門家として必要な基礎学力・知識・技能を有している。

DP2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

専門教育を通じて学んだ知識・技能を、建築設計や研究に生かす思考力や判断力を持ち、成果を適切に表現することができる。

DP3 (主体的な態度)

設計や研究で発生する課題に対して、主体性を持って取り組むことができる



環境都市工学部 (都市システム工学科 / 都市インフラ設計コース) カリキュラムツリー

DP1 (知識・技能)

本学部の基本理念である『都市産業社会における市民と生産活動が融合する「まち」空間の創生と再生』の趣旨を理解し、本学部に関する専門知識と技術を身につけ、都市が抱える環境問題をはじめ様々な課題の解決に向けて考動力を基盤に柔軟に対応することができる。そのために必要となる基礎学力・論理的思考力を有している。

1 多様な情報を活用して専門的な判断ができる基礎知識の習得

2 実験・実習、演習、フィールドワークによる問題解決のための洞察力、システム化力および計画的実践力の体得

DP2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

本学部の専門教育を通じて習得した、最先端の科学技術力を発揮できる思考判断力を有し、同時に、グローバルな視点から考察することのできる国際力を有している。

1 社会のニーズを把握できる観察力とコミュニケーション能力の習得

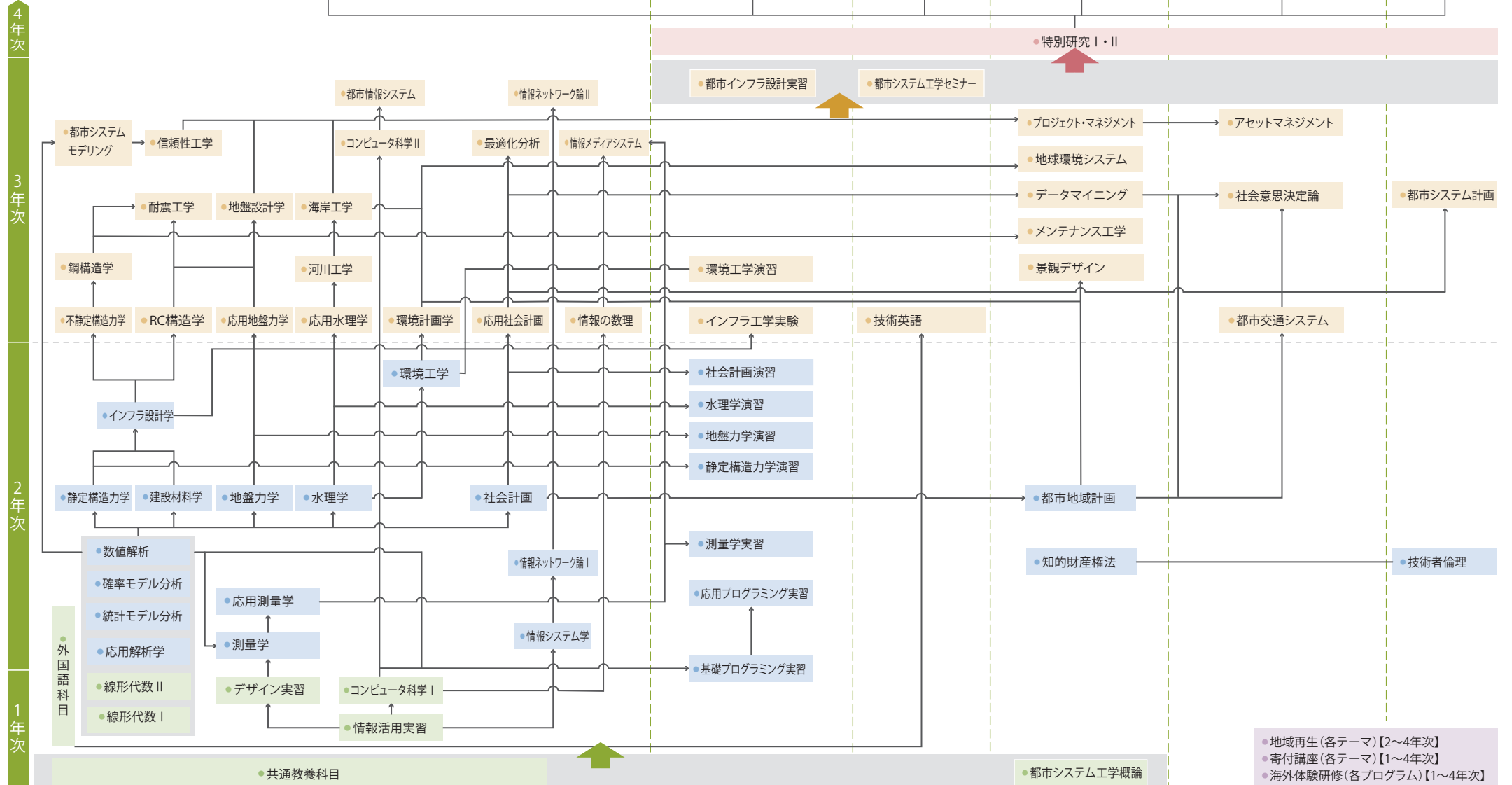
2 技術が社会に及ぼす影響に関する情報を収集し、それらについて論ずることができる能力の習得

DP3 (主体的な態度)

より快適に、より安全に、そしてエネルギーをより有効かつ効率的に使いながら自然と共生した活動を営む都市の創造を念頭に、市民と意識を共有しながら、主体性を持って問題解決に向かうことができる。

1 都市システムの変化と最先端技術の情報を常に把握し、そこから得たものを活かして続ける能力の習得

2 技術者に必要な倫理的意識の体得



環境都市工学部 (都市システム工学科 / 社会システム計画コース) カリキュラムツリー

DP1 (知識・技能)

本学部の基本理念である『都市産業社会における市民と生産活動が融合する「まち」空間の創生と再生』の趣旨を理解し、本学部に関する専門知識と技術を身につけ、都市が抱える環境問題をはじめ様々な課題の解決に向けて考動力を基盤に柔軟に対応することができる。そのために必要となる基礎学力・論理的思考力を有している。

1 多様な情報を活用して専門的な判断ができる基礎知識の習得

2 実験・実習、演習、フィールドワークによる問題解決のための洞察力、システム化力および計画的実践力の体得

DP2 (思考力・判断力・表現力等の能力)

本学部の専門教育を通じて習得した、最先端の科学技術力を発揮できる思考判断力を有し、同時に、グローバルな視点から考察することのできる国際力を有している。

1 社会のニーズを把握できる観察力とコミュニケーション能力の習得

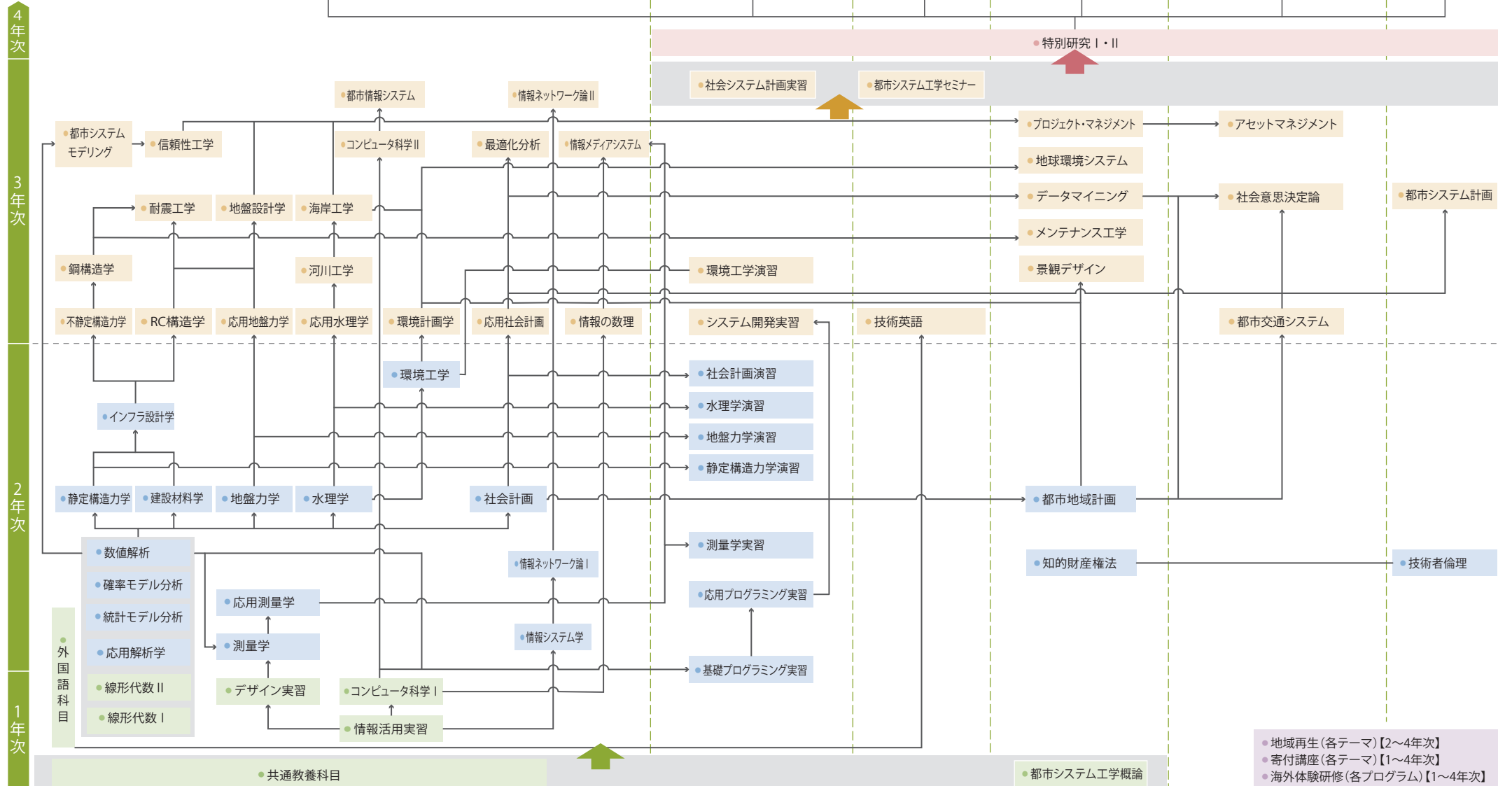
2 技術が社会に及ぼす影響に関する情報を収集し、それらについて論ずることができる能力の習得

DP3 (主体的な態度)

より快適に、より安全に、そしてエネルギーをより有効かつ効率的に使いながら自然と共生した活動を営む都市の創造を念頭に、市民と意識を共有しながら、主体性を持って問題解決に向かうことができる。

1 都市システムの変化と最先端技術の情報を常に把握し、そこから得たものを活かす続ける能力の習得

2 技術者に必要な倫理的意識の体得



- 地域再生 (各テーマ) 【2~4年次】
- 寄付講座 (各テーマ) 【1~4年次】
- 海外体験研修 (各プログラム) 【1~4年次】

環境都市工学部 (エネルギー環境・化学工学科) カリキュラムツリー

● 必修科目 ● 選択必修科目 ● 選択科目

DP1 (知識・技能)
 化学工学に関する専門知識と技術を身につけ、エネルギー問題、環境問題をはじめ様々な課題の解決に向けて考動力を基盤に柔軟に対応することができる。そのために必要となる基礎学力・論理的思考力を有している。

DP2 (思考力・判断力・表現力等の能力)
 専門教育を通じて習得した、最先端の科学技術力を発揮できる思考判断力を有し、同時に、グローバルな視点から考察することのできる国際力を有している。

DP3 (主体的な態度)
 エネルギーをより安全に、有効かつ効率的に使いながら自然と共生した活動を念頭に、主体性を持って問題解決に向かうことができる。

